

## 第5回 ECE プログラム委員会幹事会 議事録

日 時：平成 23 年 4 月 26 日（火） 10:05～11:40

場 所：日本工学会事務所（港区芝 5-26-20 建築会館 6 階）

出席者（順不同、敬称略）：

幹事長 川島 一彦（東京工業大学大学院 教授）  
幹 事 小松 生明（（社）化学工学会人材育成センター 部長、化学工学分野）  
高草木 明（東洋大学理工学部建築学科 教授、建築分野）  
山本 誠（東京理科大学 教授、機械分野）---田口委員後任  
事務局 柳川 隆之

配布資料：

幹事会資料 5-1：第 4 回 ECE プログラム委員会幹事会議事録案

幹事会資料 5-2：ナノエレクトロニクス ECE プログラム修了証の準備予定（秋永委員）

幹事会資料 5-3：先端計測とナノ物質 ECE プログラム(2011 年度)

議 事：

### 1. 前回議事録の確認

2 月 24 日に開催された第 4 回幹事会の議事録案が事務局から説明され、原案通り確認された。

議事録確認に続き、日本機械学会の田口委員に代わって今回から出席する山本 誠委員の挨拶が行われた。また、本幹事会の委員の分野間のバランスを検討した結果、電気分野からの委員の参加を求めることになり、事務局から電気学会に推薦依頼をすることになった。さらに、委員の更新も必要ではないかとの意見が出され、機会を見て検討することになった。

### 2. ナノエレクトロニクス ECE プログラムの進捗状況

川島幹事長から、修了証の作成予定に関する 4 月 4 日の秋永委員からの回答とその後の問い合わせ状況が報告された。受講者は座学と産総研での実務研修の段階では 40 名であったが、民間会社での実務研修まで受講したのは 4 名になる。修了証はこの 4 名に出すことになる。方法は配達することになる見込みである。

本年度の計画を問い合わせ中であるが、経産省からの委託は修了したため、産総研の自己資金で実施することになり、現在予算獲得の手続き中とのことである。

独立行政法人である産総研が実施する場合には参加費は無料になる。ただ、資格取得等のインセンティブがないと参加者から参加費をもらうことが難しく、そうなれば ECE を実施できる団体は限られるという意見が出された。参加者および参加費を集めることに関する委員の経験について意見交換があったのち、費用の問題は重要であるため今後も折に触れて議論をし、ECE 幹事会から出す次のレポートには費用捻出の問題に触れておくことになった。

また、上部のナノエレクトロニクス ECE 推進委員会（中村道治委員長）での審議状況が伝わりにくいとの問題が川島幹事長から指摘され、本幹事会からも委員を参加させてもらう等の対応を考

えておくことになった。まずは、川島幹事長から秋永委員に連絡を取り推進委委員会の状況を確認することになった。

### 3. 物質・材料基礎 ECE プログラムの進捗状況

川島幹事長から、長井委員からのプログラム実施計画が再度紹介された。長井委員から求められている推進委員会への日本工学会委員の推薦は、専門家としてでなく情報のパイプ役として参加するのであれば1名程度にすることになった。

本 ECE プログラムについては、次回の幹事会の席で長井委員に出席してもらって打ち合わせをすることになり、川島幹事長が6月中旬を目処に日程調整をすることになった。

### 4. 日本工学会 HP における ECE プログラムの紹介について

修正文案については次回議論することになった。

### 5. その他

スマートグリッドの ECE プログラムについては中崎委員の後任が決まってから検討することになった。